

事務事業名		し尿処理費等負担金事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業		
政策体系	政策名	0 6 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目		
	施策名	2 1 廃棄物処理対策の推進		区分		会計	款 項 目 事業	
	基本事業名	0 2 廃棄物の適正処理		単年度繰返		01	04 02 03 0001	
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入				
所属	部課名	市民生活部市民環境課		【開始年度】		事務事業区分		
	課長名	鈴木 康代		平成10 年度～		E 一般		
	係名	環境衛生係	電話	0192-27-3111				
	担当者	米田 大祐	内線	124				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
◆大船渡市、陸前高田市及び住田町が平成10年3月、し尿の収集、運搬及び処分に関する事務等を行うため設置した気仙広域連合に対する負担金を支出する。 負担割合 清掃費負担金 均等割 100分の10、利用割 100分の30 し尿処理施設建設費負担金 人口割 100分の50、利用割 100分の50 ◆業務内容は、①負担金の支出、②衛生運営会議等開催時の連絡調整、③組合関連議案作成 ◆事業費は、負担金として支出される。						総投入量 (千円)	国庫支出金	
							都道府県支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	
						事業費計(A)	0	
						正規職員従事人数		
						延べ業務時間		
						人件費計(B)	0	
						トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動) 広域連合の処理する事務ごとに定めた均等割、人口割、利用割で算出した分担金を支出する。		名称	単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様		ア し尿受入量	kℓ/年
		イ 浄化槽汚泥受入量	kℓ/年
		ウ 処理施設稼働日数	日/年
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 気仙広域連合		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		カ 気仙広域連合決算額(衛生費)	千円
		キ 処理施設能力	kℓ/日
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) し尿・浄化槽汚泥の適正な運搬、処分を行う気仙広域連合が、健全に運営される。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 排出されたし尿・浄化槽汚泥を適正に処理する。		サ 汚泥、し尿の処理残渣量 (一般廃棄物処理事業実態調査)	トン
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	95,727	95,448	103,169	116,858	130,948	130,948	
	事業費計(A)		千円	95,727	95,448	103,169	116,858	130,948	130,948	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	40	40	40	40	40	40	
		人件費計(B)	千円	160	160	160	160	160	160	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	95,887	95,608	103,329	117,018	131,108	131,108
⑤活動指標		ア	kℓ/年	17,439	16,429	15,857	16,000	16,000	16,000	
		イ	kℓ/年	10,771	10,533	9,978	10,000	10,000	10,000	
		ウ	日/年	365	365	365	365	365	365	
⑥対象指標		カ	千円	170,322	172,443	-	180,000	180,000	180,000	
		キ	kℓ/日	130	130	130	130	130	130	
		ク								
⑦成果指標		サ	トン	867	789	792	1,000	1,000	1,000	
		シ								
		ス								

事務事業ID	0088	事務事業名	し尿処理費等負担金事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 昭和39年1月、気仙地区衛生処理組合が設立され、大船渡市(旧三陸町を含む。)、陸前高田市、住田町のし尿の収集、運搬及び処分に関する事務の共同処理を開始し、平成10年3月に設立された気仙広域連合に引き続き負担金を支出している。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 し尿及び浄化槽汚泥の収集量は、公共下水道の供用開始地域の拡大等により、平成12年度をピークとして、以降は減少していたが、東日本大震災後、仮設住宅や復旧・復興工事関係事業所・宿舍等からの浄化槽汚泥の収集量が増加した。浄化槽汚泥は含水量が少なく、施設に負担をかけるため調整が必要である。
 また、震災では、気仙広域連合衛生センターが浸水し、し尿及び浄化槽汚泥の処理ができなくなったことから、平成23年度は、広域連合と構成市町の協議によって、各市町が個別に収集運搬、運搬、処理に係る委託契約を締結し、内陸の施設で広域処理を行った。(平成24年度に復旧工事が完了。)
 平成24年度からは施設が復旧して通常どおり処理しており、処理量は平成25年度の1,191トンとピークに、人口の減少等から現在は1,000トンを下回っている。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 この事務に対する意見・要望はほとんどない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 し尿(一般廃棄物)の収集・処理は、広域で共同処理することにより適正かつ効率的に処理でき、政策体系に結び付く。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、し尿の処理は市町村が行わなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 大船渡市内のし尿は、公共下水道、浄化槽、漁業集落排水施設の処理分以外は気仙広域連合で収集・処理をしており、対象が限定される。広域連合が健全に運営されることで、し尿等が適正に処理されることから、意図は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 大船渡市のし尿は、公共下水道、浄化槽、漁業集落排水施設の処理分以外は気仙広域連合で処理しており、その収集量は人口や汚水処理施設の整備率、普及率によって左右されることから成果の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、し尿の処理は市町村の義務であり、廃止、休止はできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 広域連合の事業実績(し尿収集量)で支出額が増減するので、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 業務内容は、負担金の支出であるので、人件費の削減は不可能である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 最終的に大船渡市全体のし尿処理に係ることであり、下水処理区域、漁業集落排水区域以外の全市民が直接の受益者となる。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×	広域連合への負担金の支払いは、施設の適切な管理及び構成市町のごみの適正処理に結び付くことから、現状維持が望ましい。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
	低下	×	×																	
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	し尿等の適正処理のため、現状どおり継続して事業を実施する。 なお、運営費用が適切となるよう、機会を得て事業の状況等を確認する。